

世界唯一のインプラント咬合の書

インプラントの咬合

Occlusion for Implant

保母 須弥也 著
細 山 愼



インプラント治療において咬合が重要な意味をもつことは、歯科医が等しく認める
ところである。しかし具体的に何がどの程度に重要かということになると、科学
的な認識とはなっていることは少ない。

本書はインプラントの咬合という未知の世界に渾身の力を注ぎ込んだ著者畢生の
書として、永く記録にとどめられるにちがいありません。

●サイズ:A4判変型 ●264ページ ●カラー版 ●定価:24,150円(本体23,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

インプラントの咬合

序より…

インプラントの咬合には正直いつて未知の分野が多すぎる。
現時点の歯科医学はその回答をもちあわせていない。
本書ではインプラントに関する咬合の問題をすべて洗い出し、
取りあえず試用可能な臨床術式を模索した…

第3部 臨床編 臨床アトラス

- 第21章 インプラントの咬合の基本コンセプト
- 第22章 メタル・オクルーザルによる下顎位の確認
- 第23章 犬歯のインプラント・ガイダンス
- Appendix 1 インプラント・コーディネーター
- Appendix 2 ゼロホビー咬合器について

CONTENTS

第1部 基礎編 天然歯の咬合

- 第1章 ナソロジーの歴史的考察
- 第2章 ヒンジアキシシス理論を巡る論争
- 第3章 顎路の検証
- 第4章 咬合面のテクノロジー
- 第5章 前歯誘導の謎
- 第6章 下顎運動の電子的解析
- 第7章 白歯離開の解明
- 第8章 ツインステージ法
- 第9章 セントリックの採得
- 第10章 顔面の情報

第2部 応用編 インプラントの咬合

- 第11章 インプラントの咬合機能
- 第12章 インプラントの変位量
- 第13章 即時荷重と咬合
- 第14章 オーバーロード
- 第15章 咬合のスキーム
- 第16章 代替神経筋機構
- 第17章 インプラント・ガイダンス
- 第18章 咬合面材料と形態
- 第19章 インプラントの治療計画パターン
- 第20章 咬合の長期経過観察

きりとり線

注文書

インプラントの咬合

Occlusion for Implant

冊注文します。

●お名前

●TEL

●FAX

●ご住所（〒 ）

●ご指定納入店

支店

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。

基礎編においては咬合の考察が文献を中心になされ、天然歯の咬合からインプラントの咬合までを歴史的に語られている。応用編、それに続く臨床編にしたがい数多くの症例が著者らの提唱するガイドラインに基づき詳細に提示されている。インプラント咬合の書である。

著者らの提唱する インプラントの咬合のガイドライン



Resin temporary

●レジン・テンポラリー

- 1) インプラントの埋入後、精密印象を採得し作業模型を製作する。
- 2) これを用いてバイトブロックを作り咬合採得を行う。

⋮



Metal occlusal temporary

●メタル・オクルーザル・テンポラリー

- 1) レジン・テンポラリーの咬合が安定したら、その下顎位を記録するためにセントリック・バイトを採得する。
- 2) レジン・テンポラリーを口腔内から撤去し作業模型に連結する。
このとき下顎の作業模型は咬合器から分離し、マウンティング・プレートを外しておく。

⋮



●最終補綴物

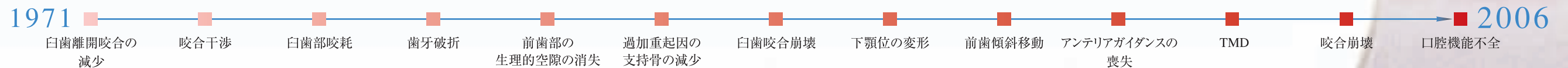
- 1) メタル・テンポラリーの咬合が確立した段階でセントリック・バイトを採得する。
- 2) メタル・テンポラリーを口腔内から撤去して作業模型に連結する。
このとき下顎の作業模型はマウンティング・リングから外しておく。
セントリック・バイトを用い下顎模型をリマウントする。

⋮

豊富な
症例



咬合の長期経過症例



治療結果の予後判定基準の審査項目

- Amount of tooth structures (歯質の量)
- Endodontic status (根管の状況)
- Amount of bone volume/support (支持骨の量)
- Periodontal status (歯周の状況)
- Mechanical / Functional demand (力学・機能的要求度)
- Visual demand (視覚的要求度)
- Patient status (患者の要求度)

良好

or

不利



35年の
経過